

## 平成30年度 数学科 授業改善推進プラン

大田区立蓮沼中学校

### 1 昨年度の授業改善推進プランの検証

#### (1) 成果

- ・第2、第3学年において、昨年度より目標値を上回る結果となった。

#### (2) 課題

- ・復習を中心とした家庭学習の習慣化
- ・基本的な計算力の定着
- ・数学的思考力の向上

### 2 大田区学習効果測定の結果分析

#### (1) 達成率（経年比較）

	平成30年度結果	平成29年度結果	平成28年度結果
第1学年	目標値より0.6ポイント下回った。	/	/
第2学年	昨年度に比べ、3.5ポイント上昇し、目標値を9.5ポイント上回った。	目標値より2.9ポイント下回った。  (第1学年時)	/
第3学年	昨年度に比べ、0.3ポイント下降し、目標値を5.7ポイント上回った。	目標値より4.2ポイント上回った。  (第2学年時)	目標値より4.6ポイント下回った。  (第1学年時)

#### (2) 分析（観点別）

##### ① 第1学年

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
目標値を1.9ポイント上回った。	目標値を0.2ポイント上回った。	目標値を0.7ポイント下回った。	目標値を2.0ポイント下回った。

##### ② 第2学年

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
昨年度に比べ、3.0ポイント下回り、目標値を6.1ポイント上回った。	昨年度に比べ、6.5ポイント下回り、目標値を5.8ポイント上回った。	昨年度に比べ、4.7ポイント上回り、目標値を10.6ポイント上回った。	昨年度に比べ、5.0ポイント上回り、目標値を10.2ポイント上回った。

### ③ 第3学年

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
昨年度に比べ、3.6ポイント上回り、目標値を5.3ポイント上回った。	昨年度に比べ、0.6ポイント下回り、目標値を3.3ポイント上回った。	昨年度より1.6ポイント上回り、目標値を7.3ポイント上回った。	昨年度より2.8ポイント下回り、目標値を4.9ポイント上回った。

### 3 授業改善のポイント（観点別）

#### (1) 第1学年

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
授業の中で、基本的な計算能力を身につける時間を多く設ける。	文章問題や、図形の問題に対しての苦手意識をもつ生徒が多いため、授業の中で取り組む時間を多くとる。	計算時には必ず途中式も書かせるなど、計算結果はもちろんだが計算の過程を大切にした指導を行う。	單元ごとに実施する單元テストや、授業で既習事項の確認を行うことで、基本事項の確認を行い、知識の定着を目指す。

#### (2) 第2学年

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
家庭学習用の課題を出すことで家庭学習の定着を図るとともに、基礎的・基本的な学習内容を定着させ達成感をもたせる。	表やグラフから情報を読み取ったり、自分の言葉で説明したりする機会を單元ごとに取り扱っている。	学年全体としては基礎・基本の定着が見られるが、分数を含んだ式の計算を復習できるように、單元テスト・小テストなどを活用する。	1年次の資料の活用の領域を定期考査で出題し、復習の機会をつくる。また、2年次の学習内容も、言葉の意味、公式、性質などをステップ学習・單元テストなどを利用し定着させていく。

#### (3) 第3学年

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
定期的に家庭学習用課題を課すことで、家庭学習の定着と基礎基本の徹底を目指す。	ただ公式に当てはめるだけでなく、立てた式の意味を考えた、友人に説明したりする機会を設ける。	計算の正確性は身につけてきている。今後は、正確性だけでなく、計算の速さも向上できるように、小テストや單元テストを活用していく。	3年次の学習内容だけでなく、1・2年次の学習内容の確認もできるように家庭学習課題を課す。また、單元テストやステップ学習を利用して基礎基本の定着を目指す。